

教員情報	
所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・准教授
氏名	山本 遼 (Yamamoto Ryo)
取得学位	教育学修士、広島大学、2013年3月
SDGs目標	 4 質の高い教育をみんなに
研究分野	教育経営学
研究キーワード	スクールリーダー教育、戦略クラフティング、クラフト、アクションリサーチ
研究内容	<p>私の研究テーマは、戦略プランニングに基づくスクールリーダー教育に替わる、戦略クラフティングに基づくスクールリーダー教育の理論的基盤を明らかにし、それにに基づくスクールリーダー教育を開発することである。</p> <p>(1) 戦略クラフティングに基づくスクールリーダー教育に関する研究</p> <p>「管理」運営レベルの力量だけでなく「経営戦略」レベルの力量を高めるスクールリーダー教育を考える際、どのような経営戦略論（ビジョンや戦略をいかに形成・実現するか）を前提とするかによって、力量の捉え方は変わり、何をどのように教えるかも変わる。こうした考えのもと、私は、MBAプログラム（経営学修士）を戦略プランニングに基づくマネジメント教育と批判し、それに替わる戦略クラフティングに基づくマネジメント教育を提唱する経営学者H.ミンツバーグの論に着目し、戦略プランニングに基づくスクールリーダー教育に替わる、戦略クラフティングに基づくスクールリーダー教育のあり方を探求している。戦略プランニングは、安定的で予測可能な状況を暗黙裡に前提とし、リーダー層が現場から離れて予めビジョンや戦略を計画し、それらを組織構成員に確実に実行させる計画性重視の戦略論である。これに対し戦略クラフティングは、変動的で予測不可能な状況を前提とし、事前にビジョンや戦略を計画しつつも、現場における経験からの学習を通してそれらを修正・発展させていく創発性重視の戦略論である。</p> <p>さらに、1980年代後半以降の米国では、ミンツバーグの論も参照しながら、スクールリーダーの専門性の基礎として、経験や技、直観といったクラフトを志向するスクールリーダー教育の潮流が見られる。こうした潮流を主導した論者の論に着目して研究を進めている。</p> <p>(2) 教職大学院におけるアクションリサーチを中心とするスクールリーダー教育に関する研究</p> <p>マネジメントはクラフトの側面が大きく、実際の仕事（実践）を通じた省察によって学習する必要がある。こうした考えのもと、院生が実際に学校現場に生起する課題の解決に取り組むアクションリサーチを中心とするスクールリーダー教育について、自分自身の教職大学院におけるスクールリーダー教育の実践を通して、研究を進めている。</p> <p>さらに近年では、教職大学院におけるスクールリーダー教育の成果として、院生の行動変容度および組織への影響度を評価する方法論の開発にも取り組んでいる。</p>
研究業績・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> 山本遼「クラフトとしての経営に基づくスクールリーダー教育に関する考察—A.ブルーンバーグのスクールリーダー教育論に着目して—」『日本教育経営学会紀要』第67号、2025年、106-122頁。 山本遼・曾余田浩史・金川舞貴子・大空秀文・曾余田順子「スクールリーダー教育の課題研究を学校にいかに位置づけるか」『教育学研究紀要』第68号、2022年、560-571頁。 山本遼「戦略クラフティングの発想に基づくスクールリーダー教育に向けて」末松裕基編『教育経営論』学文社、2017年、88-105頁。 山本遼「経営戦略論の観点から見たP.ハーリンジャーのスクールリーダー教育論に関する考察」中国四国教育学会編『教育学研究ジャーナル』第19号、2016年、21-30頁。